

生徒による授業評価に対する
各教科、学年における集計結果の分析と改善点等のまとめについて
令和2年度

教科名・学年	集計結果の分析と改善点等のまとめ
国語	担当者の情報共有にいっそう努め、視聴覚教材の活用やグループワークなど、生徒の理解度に応じた授業の内容と方法の精査を進める。課題や小テストの実施を通じ、やればできる事を多く体感し、知識の定着や意欲の向上に繋がるよう努めていく。
地歴・公民	教科担当者間で密接な情報共有を図り、教材や授業方法について検討する。特に、生徒の興味関心・理解促進のため、視聴覚教材・タブレットを取り入れた授業展開を考える。また、定期テストの出題内容を改善し、基礎知識の定着と思考力・表現力養成に努める。
数学	社会事象を数学的に解決することに関心を持てるようにしていく。話し合いや教え合う機会を積極的に設け、生徒の活動時間を多く授業に取り入れていくことに努める。
理科	新型コロナウイルスの影響により、授業に制限がある状況であるが、引き続き生徒が自然科学に興味・関心を示すような授業を心がけていく。また、主体的に学習に取り組む生徒の育成を目標としたい。
保健体育	生徒の学習意欲が育つよう、教員同士の切磋琢磨の中で研鑽を深めていく。生徒自ら考え行動ができ、より良い人間関係構築ができるよう手助けをする。
芸術	特に音楽ではコロナ禍で授業内容を精選するなど注意を払わなければならないことが多いが、その中でも各科目を選択した生徒たちが授業に興味関心を持って意欲的に取り組めるように、教材選定や授業展開により一層の工夫改善をすすめていく。
英語	年3回の模試と年度末のGTECを利用して、知識・技能の定着状況を見極め、その都度授業改善を行う。電子黒板を利用して、視角・聴覚からの理解を促す。タブレット端末を用いた個別最適化学習をすすめ、苦手の克服に導く。
家庭	コロナ禍で実習に制限がある状況でも興味関心を持ってのぞめるように、タブレット等を使用して、視覚で理解できるように工夫する。課題で、知識・技術の定着を計っていきたい。
情報	新型コロナウイルス感染拡大もあり、社会で用いられ情報システムは、現在、欠かせないものとなっており、その知識と技術の習得は必須となっている。情報の授業では、身近なものとなるように工夫していききたい。パソコン教室で、スクリーンに投影された字が小さくて見えないという意見があり、拡大して写す等の対応をしていききたい。
1 学年	今回あげてもらった生徒の意見に謙虚に耳を傾け、教員自ら進んで研修・研鑽に励み、授業力・指導力の向上をめざして引き続き取り組んでいきたい。
2 学年	基本的な生活習慣と家庭での学習習慣を定着・継続させるよう、引き続き取り組んでいきたい。
3 学年	進路実現にむけ授業、補習授業や面談指導等のより一層の充実を図っていく。